

# 学研 11月号

## Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

2011  
年  
10  
月  
25  
日

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

こんにちは。獺(カワウソ)ってかわいいですよね。先日水族館で見ました。獺は捕まえた魚を川岸などに並べるらしいです。その様子がお供えしているように見えたことから、獺祭(だっさい)なんていう言葉もあるくらいです。正岡子規は病床で本を並べて散らかしている自分の様子を獺に例えて、自らを獺祭書屋主人と号しました。でも獺は、本当に魚を並べるのでしょうか？ 見たことないし。どなたか、獺が魚を並べているところを目撃された方いらっしゃいませんか？ (さ)

## ♪ ソナチネ・アルバムのおはなし

ピアノ・レッスンも、ブルクミュラー25の練習曲の後半、(貴婦人の乗馬)にたどり着いたころ。次に見えてくるのは何でしょう…？ J.S.バッハの『インヴェンションとシンフォニア』、ショパンのワルツを試される方も？ でもやはり、多くの方は『ソナチネ・アルバム』を思い描かれるのではないのでしょうか。

### 『ソナチネアルバム』って？

日本のピアノ教育、特に中級レベルの教材として『ソナチネ・アルバム』は必須と言えるかもしれませんが、意外に詳しく知らなかった…、という(個人的な)反省をこめて、改めて紹介させていただきます。

『ソナチネ・アルバム』。ピアノ独奏用のソナチネ(=小規模なソナタ)曲選集のなかでも、長年にわたって日本で使われているのは《ペーターズ(Peters)版(独)》=ルイ・ケーラー(Louis Köhler, 1820-1886, 独)編—アドルフ・ルートハルト(Adolf Ruthardt, 1849-1934, 独)校訂、のものです。初版の年代は不明ですが、ケーラーの没年から考えると、編纂されてから(少なくとも)一世紀+四半世紀の年月を経ていることになります！日本への導入経路もよくわかっていませんが、1935年(昭和10年!)ころまでには、日本のピアノ教育に欠かせない教材としての地位を確立し、各社版として普及したと考えられています。

構成は全2巻。ケーラー、クレメンティ、ベートーヴェン、ドゥセック、ハイドン、モーツァルト…といった古典派のソナチネを中心に、バロックからロマン派のピアノ小品や他ジャンルの曲のアレンジなどを合わせ、各巻30曲ずつ収録しています。

この『ソナチネ・アルバム』という教本、ここまで受け入れられたのは、やはりその編纂の妙に尽きると言えるでしょう。教育的効果、楽曲としての完成度…。「ソナタ形式」を学ぶために、また、中級レベルで必要な音楽的要素を学ぶために効果的な曲が厳選されている、と感じられませんか？ さらに、それを補助する小品集の存在意義も大きいですね。これらの曲でイタズラ弾きをした経験、お持ちではないですか？ ここで、古典派の形式ばかりでなく、さまざまな時代、さまざまなスタイルの音楽を体験することが、ピアノ・レッスンを豊かにし、音楽体験の幅を上げ、それは未来永劫、音楽生活の中で息づくものになると言えるのではないのでしょうか。

### ケーラーとルートハルト

さて、話は変わって『ソナチネ・アルバム』完成に欠かせないこの二人。ケーラーは導入から初級のピアノ小品の作曲者としてお馴染みかと思いますが、各地の歌劇場の指揮者を経てピアノと理論の音楽学校を興し、教育者・合唱指揮者・批評家として活躍したそうです。全ドイツ音楽家協会設立時の発起人の

一人でもあり、まさにピアノ教育界の名士！オペラやバレエ音楽も残しましたし、ピアノ奏法に関する文献もあります。ペーターズ版のピアノ楽譜編纂にも携わり『ソナタ・アルバム』もまた彼の業績のひとつです。

一方のルートハルト。音楽一家に育ち、ピアニスト・ピアノ教師・作曲家として活躍。各種のピアノ技巧用練習曲などのピアノ曲を残しています。楽譜校訂の分野でも高名で、ケーラーのほかにもクランマーのピアノ教育作品の編集・改訂の実績があるそうです。

彼ら二人がいかに優秀、かつ研究熱心なピアノ教育者であったかは、『ソナチネ・アルバム』をひもとくことでよくわかると思います。芸術の秋、ぜひこの機会に『ソナチネ・アルバム』と向き合ってみてください。(か)

2011年楽器フェアにも登場!

## 大人の科学

音モノ限定新シリーズ誕生!?

『Gakken 大人の科学シリーズ』は、発売以来累計200万部(製品版、マガジン版の合計)を超える大ヒット人気シリーズで、子どもから大人まで、多くの科学ファンを魅了してきました。中でも、テルミンやシンセサイザー、ミニエレキなどの音モノは、プロのアーティストの間でも話題となりました。

そして2011年10月、そんな音モノに限定した新シリーズが始動します!

その名も、「大人の科学 サウンドガジェット・シリーズ」。第1弾は、異例の大ヒットとなった別冊「シンセサイザークロニクル」の(SX-150)の後継機種、アナログ・シンセサイザー〈SX-150MARK II〉。真っ赤なボディを纏い、性能も大幅にアップ、進化を遂げて製品版として帰ってきます!第1弾以降も、音モノに限定した驚きのガジェットが続々登場予定。ご期待ください!

今月の

## あかね先生



あかね先生は、所沢にある先生の教室や幼稚園で、幼児から音大受験生まで幅広い年齢層の生徒さんを指導されています。先生のレッスンを拝見しているいつも感じることは、生徒さんとのコミュニケーションを大事にされているということ!生徒さんの性格や気持ちをよく理解されていて、それぞれに響く言葉でお話されるから、わかりやすいレッスンになっているのだと感じます。「指導に教科書なんてない」という言葉が、先生の口癖です。(いも)

\*今月のセミナースケジュール\*

- 11/1(火):[滋賀県/近江八幡]  
滋賀県立男女共同参画センター  
『子どもが飽きないリズムのレッスン!』
- 11/22(火):[愛知県/名古屋]第一楽器 植田店  
『音符を読むコツ!!』



# 11月は アランフェスがか奏曲の月!?



ギターのどことなく切ないような音色は魅力的です。そのうえ、小さなオーケストラともいわれるほど豊かな表現力をもった楽器でもあります。しかし、ギターを使った楽曲のほとんどが独奏曲であることからわかるように、その音量はとても小さいのです。ピアノのように大きなホール全体に音を響かせるというわけにはいきません。その限られた音量のギターとオーケストラのための協奏曲に取組み成功したのが、1901年11月22日に生まれたスペインの作曲家ホアキン・ロドリゴ。彼の代表曲が1940年11月9日にバルセロナで初演された「アランフェス協奏曲」です。ギターというスペインそのもののような楽器をオーケストラに対峙させ、ロドリゴはまるでその音量の限界を逆にとるようにして、いにしへのスペインのうるわしい姿を描きました。20世紀の中ごろ、戦乱の時代の真っ只中にこのような曲が作曲されていたのです。それは幼少の頃に病気が原因で失明したロドリゴにとって、はじめて見ることがかなう夢のように美しい世界でした。独特な哀調と慰めにみちた第2楽章のアダージョの旋律はポップスの世界でも編曲されていますが、なかでもやはり真摯に正面から取り組んだモダン・ジャズの帝王マイルス・デイヴィスのアルバム「スケッチ・オブ・スペイン (Sketches of Spain)」に触れないわけにはいきません。マイルス・デイヴィスのトランペットのソロが圧倒的に素晴らしく、ギル・エヴァンスによるジャズ・オーケストラへの色彩感あふれる編曲の冴えは、単なる編曲というレベルをはるかに超えています。この創造的な録音は、1959年の11月におこなわれています。(さ)

★マイルス・デイヴィスの演奏を聴いてみましょう！【CD】 Miles Davis : Sketches of Spain - 50th Anniversary (2CD/US輸入盤/ソニー・ミュージック)



- ♪ジョン・フィリップ・スーザ (アメリカ/作曲家、バンドリーダー/1854.11.6生)
- ♪イグナツィ・ヤン・パデレフスキ (ポーランド/ピアニスト、作曲家、政治家/1860.11.18生)
- ♪アグネス・バルツァ (ギリシャ/メゾソプラノ歌手、女優/1944.11.19生)
- ♪ホアキン・ロドリゴ (スペイン/作曲家、ピアニスト/1901.11.22生)

新着情報

「標準新版ソナチネ」シリーズ、完結…。  
 “原著の意図はそのまま生かし、現代においての使いやすさを追求する”「標準新版」中級シリーズ(田丸信明監修)の「ソナチネ・アルバム」第2巻がついに発売です。“あきさせない”“弾きやすい”“教えやすい”をコンセプトに「学習者にとっての使いやすさ」と「指導者にとっての使いやすさ」の両立にこだわりました。2冊の「アルバム」と「レパートリー」で効果的な学習を！

●標準新版ソナチネ・アルバムⅡ  
 88p 定価:1,050円(税込)

Gakken

UDAR ウダー ~ 其の七 ~

ウダーの新しいインターフェースとして、さまざまな可能性を探りましたが、一旦完全に手詰まりの状態となってしまいました。どのような方法を考えても、何かしら欠点があるのです。それは、「演奏性が低い」「組み立てることができない」「検査方法が複雑になる」などなど……。そのような状況で次なる問題が持ち上がりました。ウダーは電子楽器ですから、何かしらの出力が必要となります。アンプ・スピーカーを内蔵しますが、外部アンプにつなぐための、あるいはイヤホンにつなぐための出力が必要です。本家のウダーでは、その部分に電話線ケーブルを使用して、本体真ん中から出していました。宇田さんは、これで演奏していましたが、ケーブルが邪魔だとも多々ありました。さらに、本家では自家製アンプにつなぐため接続を自由に設計でき、電話線でも可能でしたが、汎用性を高めるためには、標準ジャックが標準ミニジャックが必要です。当初は本家と同じように、本体真ん中にジャックをつける設計を行っていましたが、試作を演奏すると、邪魔でしょうがありません。初心者は演奏方法もままならないため、下手をするとケーブルが本体に巻き付いてしまいます。そこで、ジャックを左右の持ち手のどちらかに埋め込むことにしました。しかしながら、ウダーの筐体は、すでに回路基板が目一杯の状態ですので、スペースに余裕がありません。ほんの少し基板の位置を移動し、最小限のスペースを生み出すことで、どうにかこうにか乗り切ることができました。(つづく)

?? レッスンQ&A ??

回答してくださったのは 江崎光世先生

Q. 譜読みが苦手な生徒さんへの効果的な指導法がありましたら教えてください。

A. ひと口に苦手といっても、生徒さんによってその原因は様々です。また、「耳が強いタイプ」と「目が強いタイプ」に大別されますので、そのあたりにも気をつけて原因をさがしてみましょう。

1. ト音譜表は読めるが、ヘ音譜表が苦手	8. 音符と鍵盤の位置関係が理解できていない
2. 調子記号が2つ以上になるとミスが多くなる	9. 片手ずつは読めるが、両手を同時に読むスピードが遅い
3. 加線がつくと途端に時間がかかる	10. 音符は読めるが、スラーや強弱記号、発想記号が同時に読めない
4. 3和音がすぐにつかめない	11. 楽譜を追う目の動きが遅い
5. 臨時記号がつくと音があいまいになる	12. 耳から覚えてしまうため、楽譜を見て弾く習慣が身につけていない
6. 音の位置は分かるが、リズムが読めず拍子もとれない	
7. 1小節や2小節単位のフレーズ読みが遅い	

大切なことは、レッスンの中で常に「何が原因で遅いのか」「何が定着していないのか」を確認し、早めの解決策を考えてあげることです。上記の挙げた項目を参考にし、「弱点ひとつひとつと根気強く付き合う」「導入時代から耳と目の力を車の両輪のようにバランスよく育てる」ことで、生徒さんの実力を上げていきましょう。

つむりの 練習手帳

つむりは最近、ピアノを毎日一人で練習するようになりました。これまで、だれかがそばにいないとダメだったのにね。いま弾いているワルツは「あっちこっちでみんながコケているみたい〜」って大笑いするくらいだったのが、ちょっとの間にすっかり上手になって、今度「あんふ」しなきゃいけないんだって。つむり、「あんふ」をちゃんとするの初めてだから、けっこう苦労しているみたいです。(くいしんぼお兄)

つむり現在の楽譜

- ◎ゆびのたいそう1
- ◎バスティンピアノベーシックス1
- ◎ピアノフレンド2

糸桶集部のつづきだったー!

台風一過の空に虹を見ました  
 自然の力と美しさに、畏れを感じました(@おや)

Tsubuyaitter.....

twitter やってます! @gakken\_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

follow me!